



2025年3月28日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 中央制御室火災を踏まえた
再発防止対策及び安全管理の徹底について
(初回報告)

当社は、東海第二発電所において火災が続いたことを受け、火災の発生防止のための組織的な取り組み強化を行い、再発防止に取り組んできました。

この取り組みを進めている中、本年2月に東海第二発電所の中央制御室において火災が発生させたことに対し、茨城県より「火災対策の徹底について（嚴重注意）」、東海村より「安全管理の徹底について（要請）」の文書を受領しました。

(2025年2月14日お知らせ済)

当社は、本日、茨城県及び東海村に、東海第二発電所中央制御室火災について早急に実施する必要がある直接的な対応策とともに、根本原因分析及びこれまでの火災防止対策に対する検証の2つの評価プロセスをもとに再発防止対策及び安全管理の徹底策について初回報告を行いました。

根本原因分析においては、リスクマネジメントや作業管理に関する理解不足等6点の管理要因を抽出しました。引き続き分析を進め、組織要因に基づく再発防止対策を検討してまいります。

また、これまでの火災防止対策に対する検証の結果から、所員一人ひとりが安全最優先の行動原則を自分のものとするための具体的な改善策を策定し、さらに、現場の危険に対する感受性を向上させる方策を検討・立案し、実行していくことで、発電所の安全管理の強化を図ってまいります。

改善策の検討においては、外部の専門家の指導・助言を受けることで、客観性のある再発防止対策及び安全管理の徹底策を講じてまいります。

『安全は現場にある』という決意のもと、現場第一線の声に常に耳を傾け、より実効的な安全管理体制への改善を進め、経営層のリーダーシップの下すべての者が同じ目線と意識をもって一丸となって一歩一歩進めていくことにより、失われた信頼の回復に全力で取り組んでまいります。

添付資料

東海第二発電所

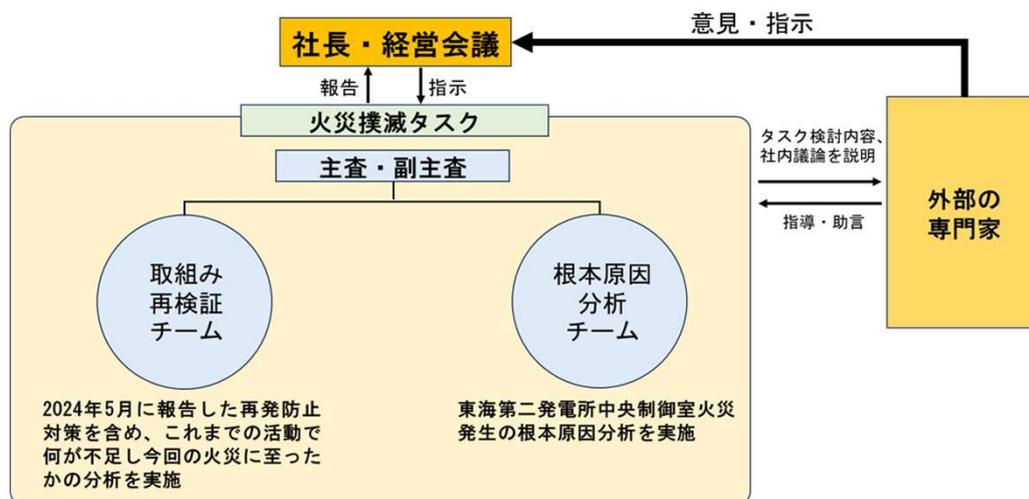
中央制御室火災を踏まえた再発防止対策及び安全管理の徹底について（初回報告）（概要）

以上

東海第二発電所中央制御室火災を踏まえた
再発防止対策及び安全管理の徹底について（初回報告）

東海第二発電所 中央制御室火災を踏まえた 再発防止対策及び安全管理の徹底について（初回報告）（概要）

当社は「東海第二発電所 中央制御室内制御盤における火災」の根本原因分析に係る事項及び火災発生防止に向けた取り組みの再検証について、外部の専門家による指導・助言又は社長・経営会議への意見・指示を通じて改善するため、以下の体制で対応しています。



■根本原因分析

現在までの分析において、以下の6点を管理要因として抽出しました。

- ・ リスクマネジメント（3H（初めて、変更、久しぶり）の作業検討含む）や作業管理に関する理解不足（中間管理要因）
- ・ 工事監理員が気軽に相談できる経験深い社員の配置不足（経営管理要因）
- ・ 当該設備の設計思想にまで遡って確認できる環境が不足（中間管理要因）
- ・ 実績を重視することに偏重する傾向（中間管理要因）
- ・ 相互理解を徹底するための作業関係者間とのコミュニケーション不足（組織心理要因）
- ・ 当社と協力会社の役割と責任の明確化が不徹底（中間管理要因）



引き続き分析を進めて組織要因を確定し、再発防止対策を検討してまいります。

■これまでの火災防止対策に対する検証

これまでの火災防止対策の取り組み強化策について有効性評価を行いました。

【評価結果】

経営層は、マネジメントレビューにおいて火災撲滅に関して指示を出すとともに、改正した防火方針に基づき防火活動の実践に取り組んでまいりましたが、2024年5月の「東海第二発電所における火災発生防止に向けた今後の取り組み」公表後も火災が続いていることを重く受け止め、自らの言葉や行動により安全第一の方針や安全最優先の行動について示すことによりリーダーシップを発揮し、安全最優先の行動原則を組織として浸透させることが必要と評価しました。



【更なる改善の方向性】

経営層はリーダーシップを発揮し、自らの言葉や行動により安全最優先の行動原則を組織に浸透させることを目的に、2025年度経営の基本計画に安全最優先の行動原則の徹底に全社を挙げて取り組むことを明記するとともに、所員一人ひとりが安全最優先の行動原則を自分のものとするための具体的な改善に取り組んでまいります。